

# フィールドワーク実施報告

## 海陽町「苔アート」

---

## 学生アンケート結果について

四国大学 人間生活科学科3年

# スケジュール

## 【準備作業(四国大学)】

1. 9/30(木) フィールワーク説明
2. 10/ 7(木) 海陽町の動画閲覧・情報検索,ブレインストーミング
3. 10/14(木) 「海陽町で連想する魅力」グループ発表
4. 10/28(木) 「苔アート」下絵アイデアの発表,ブラッシュアップ
5. 11/11(木) 「苔アート」下絵の最終発表



## 【苔アート制作(海陽町)】

- 12/18(土) プロジェクタ投影による下書き作業  
12/19(日) 「苔アート」制作

## 【見学(海陽町)】

- 12/18(土) 海陽町立博物館  
12/19(日) 鞆奥漁港海浜公園  
海陽町元気になる「和」とれとれ市

参加人数：学生22名+教員3名 計25名



12/18(土)夜 プロジェクタ投影による下書き作業



12/19(日)朝～苔をはがす部分の確認



12/19(日)夕方 苔アート完成



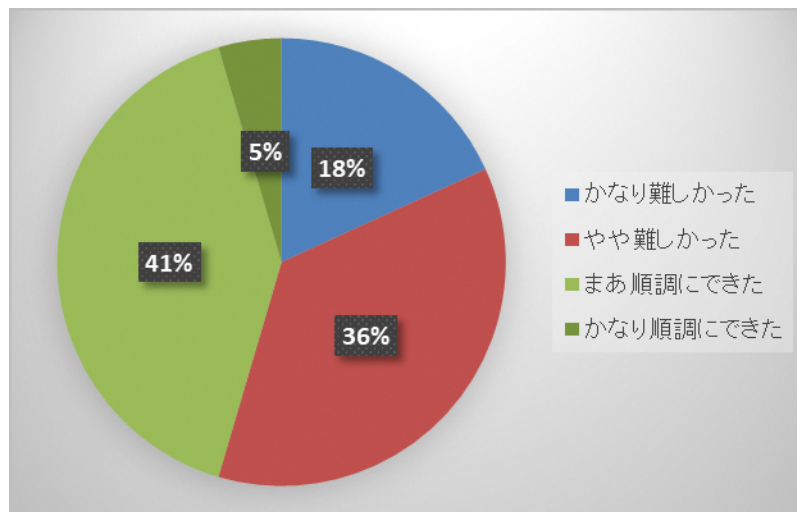
苔はがし作業



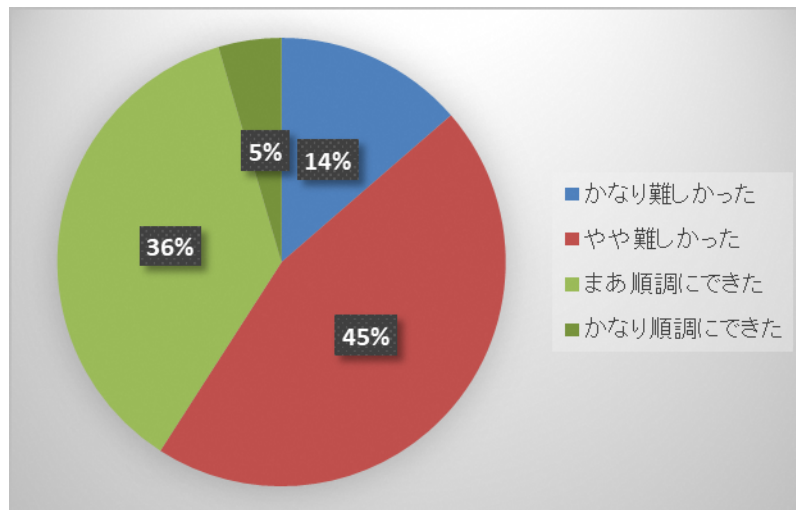
このように道路側面のコンクリート壁に生えている苔を削って絵や文字を描き完成

# 実施後の学生による自己評価【難易度】

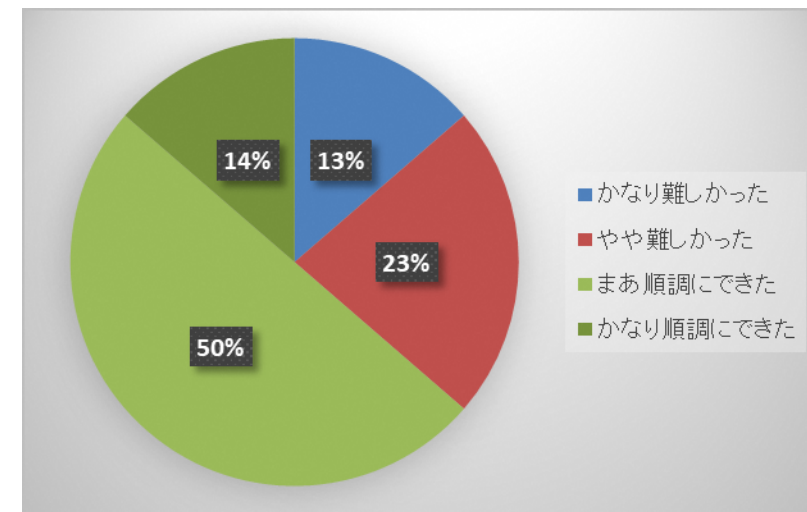
## 1. 事前の準備作業 (アイデア出し)



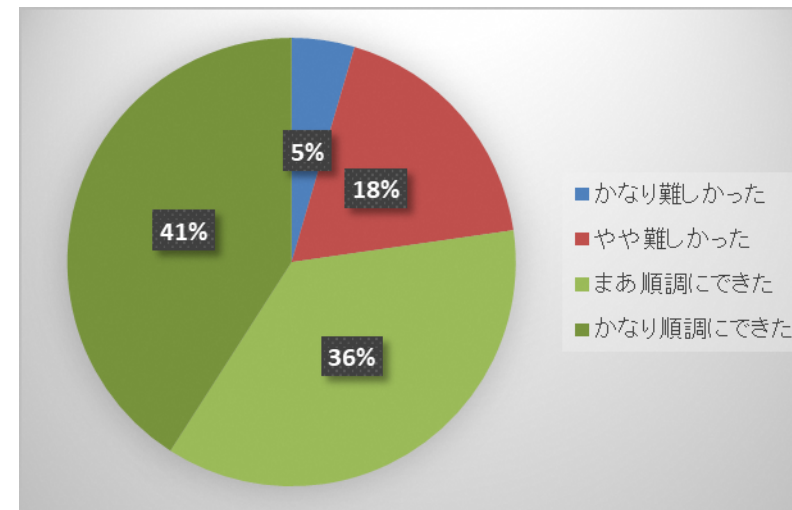
## 2. 事前の準備作業 (デザインの表現)



## 3. チームでの作業と他の課題や 活動を行うための時間調整



## 4. 現地(海陽町)での作業



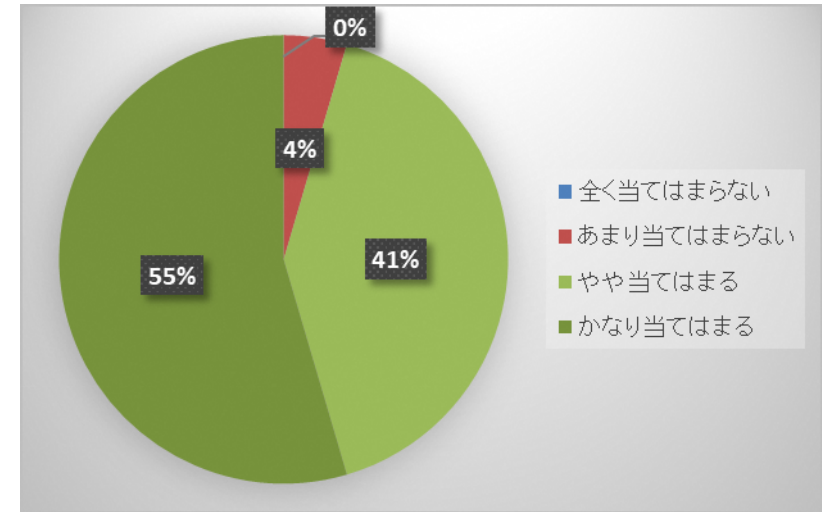
# 実施後の学生による自己評価

## 【到達度】

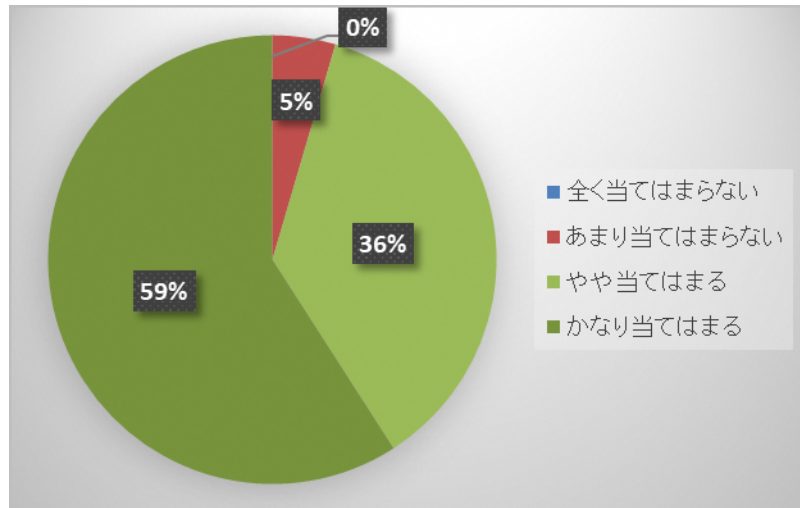
### 「フィールド研究」の到達目標

1. 課題発見力 (地域の抱える課題を捉えることができる)
2. 分析力 (地域情報を整理し分析することができる)
3. 提案力 (問題解決のアイデアを構想したり、企画提案することができる)
4. 行動力 (問題解決に取り組むために勇気をもって行動し、仲間と協力しながら社会貢献することができる)
5. コミュニケーション力 (様々な価値観や地域文化を尊重し、積極的に交流することができる)

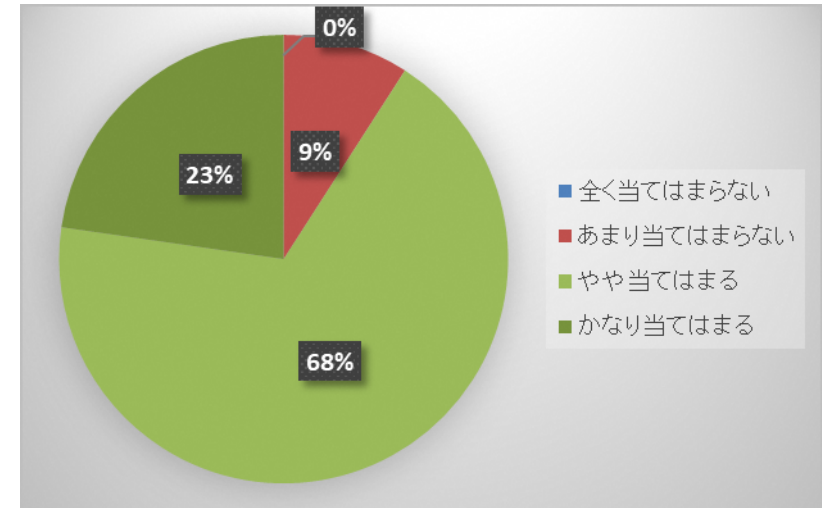
## 2. チームでの作業に積極的に取り組むことができた



## 1. チームで作業することで自分だけでは気づけなかった発見や発想ができた

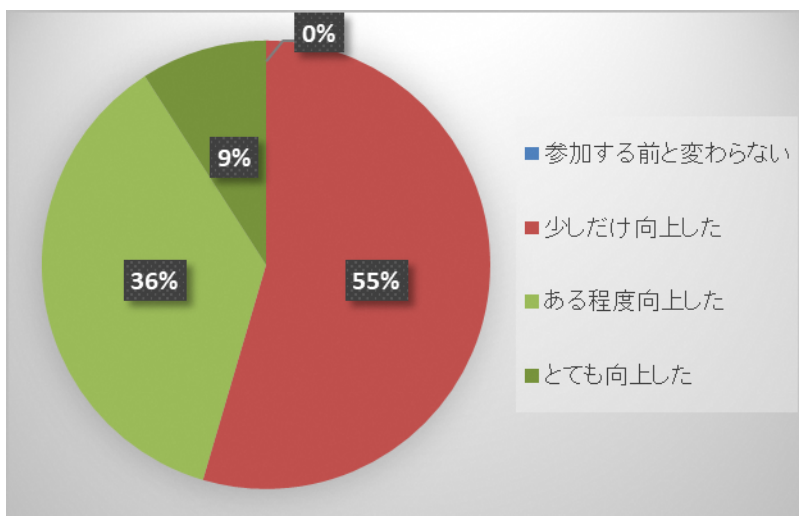


## 3. フィールドワークを通じて地域の様々な事象について考えることができた

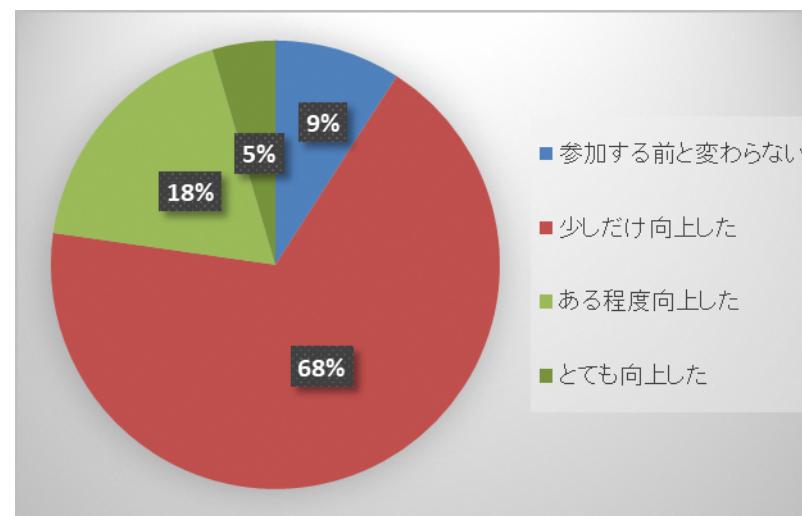


# 実施後の学生による自己評価【身についた能力】

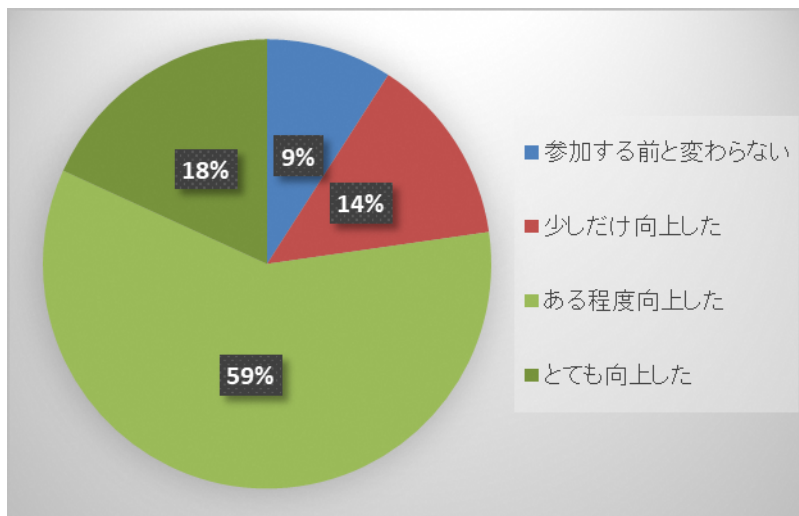
## 1. 創造力



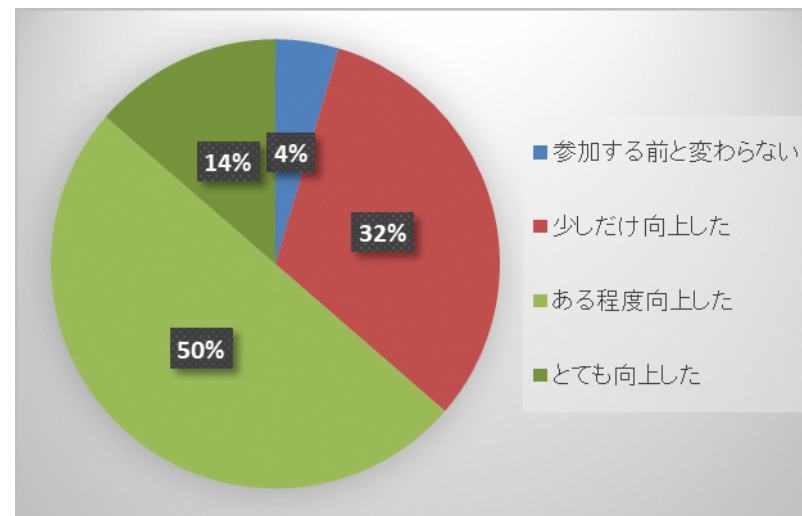
## 3. 判断力



## 2. 協調性

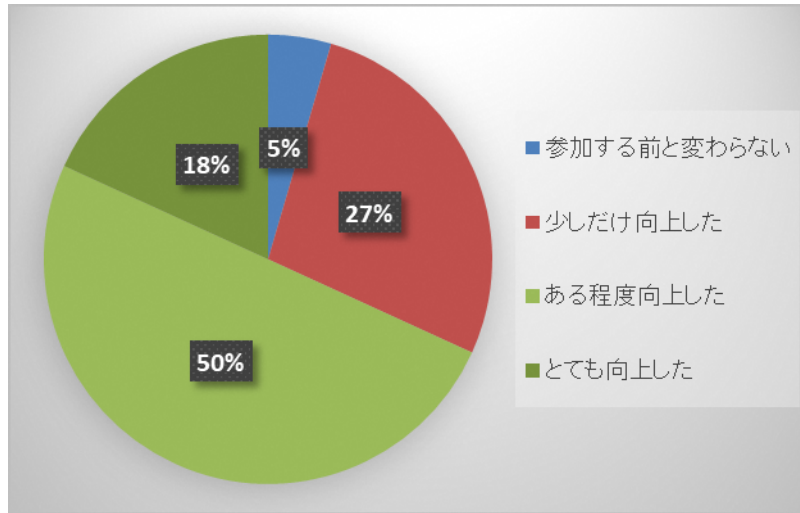


## 4. 行動力

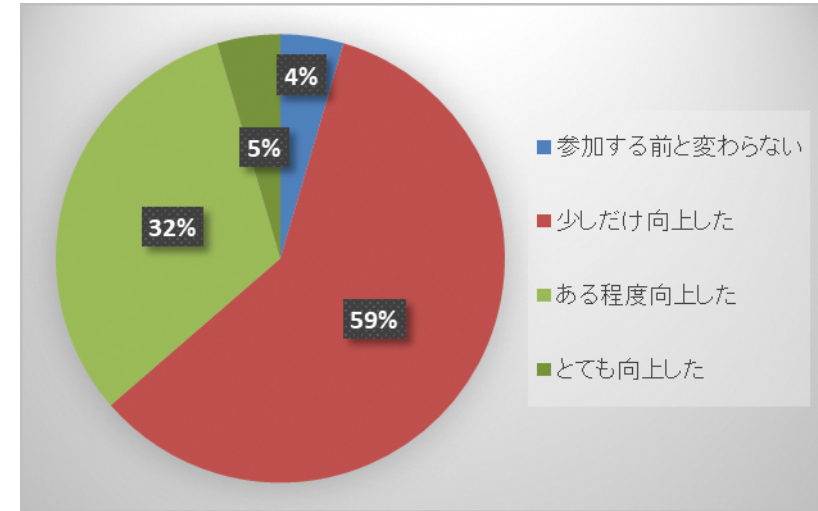


# 実施後の学生による自己評価 【身についた能力】

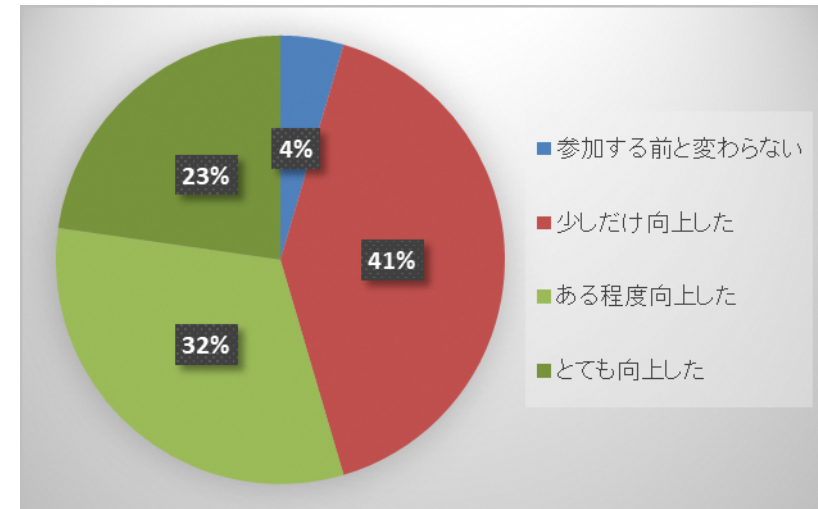
## 5. 課題に対する理解力



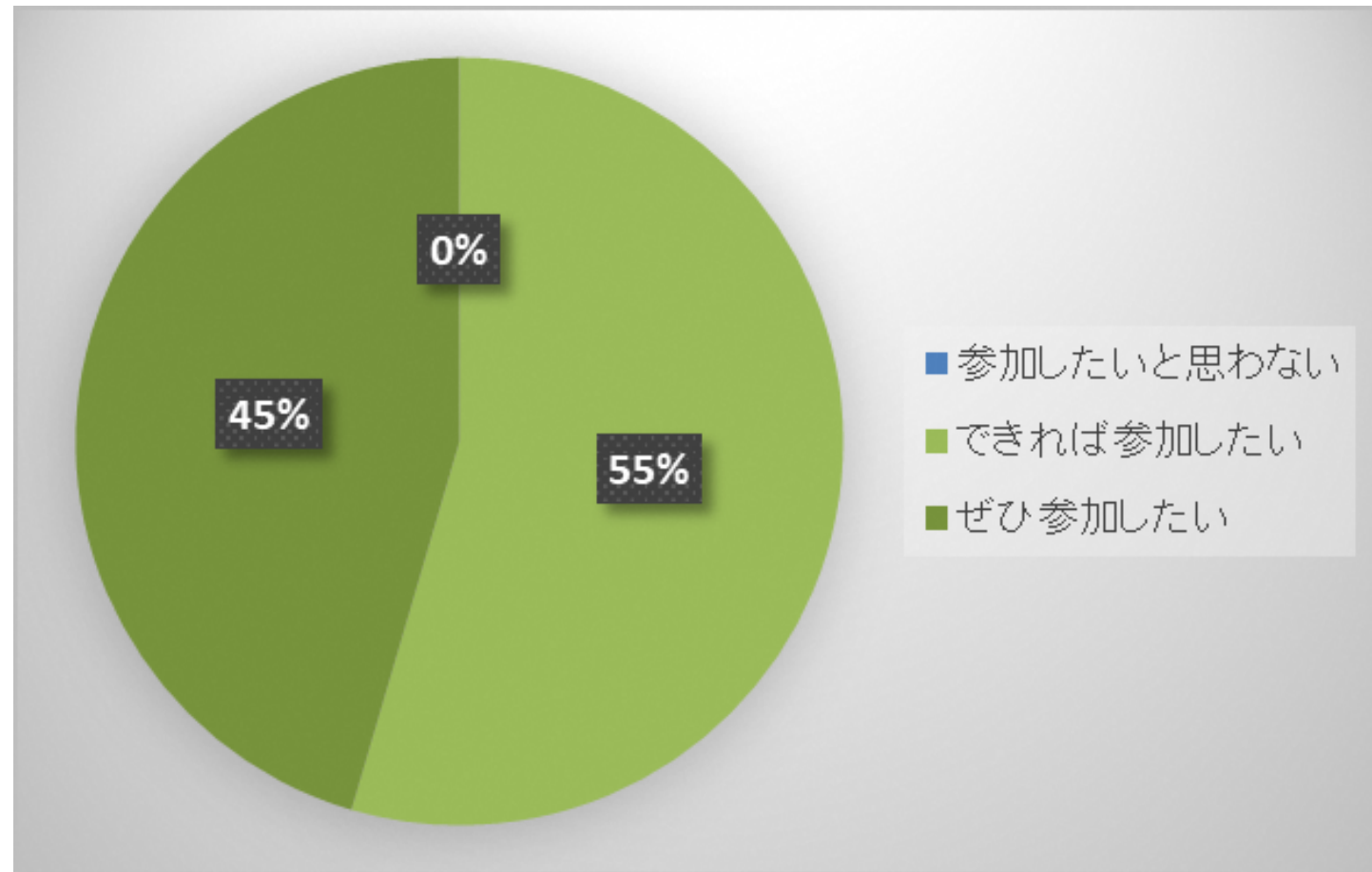
## 6. 問題を解決する力



## 7. コミュニケーション力



今後、このような活動の機会があれば  
参加したいか？





# 海陽町を実際に訪れてみての印象

## ある参加学生の感想

山と海が近くて、トンビも空高く舞っていて、大きな鳥が漁港のそばにいて鴨などが川をススーッと泳いでいる、こんなにも自然溢れる、心癒される場所があるんだと感じた。

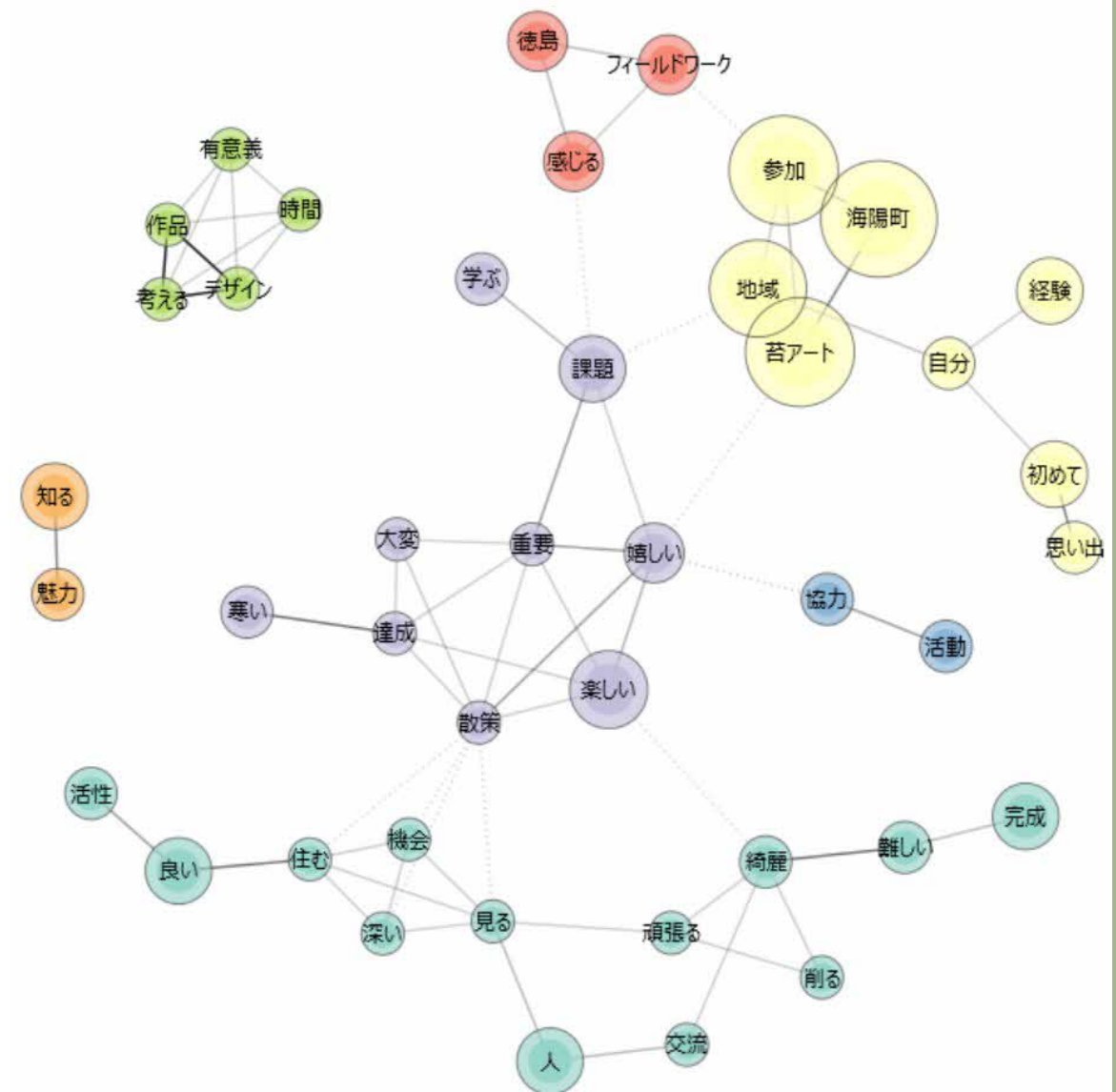
住宅街の優しい静けさも、水に囲まれた小学校のグラウンドも、滅多に見ない光景で感嘆した。空気を吸い込めば潮の匂いがして、でも目の前はまだ緑があって、不思議な感覚になった。そして、気持ちが落ち着く、過ごしやすい世界だと感じた。その中に、海陽町が本当に大好きなんだと感じれる人達がたくさんいて、なんて美しく優しい町なんだろうと思った。

車に「頑張れ海陽町」って書いてる人や元気に走り回る子ども、市場で楽しそうにお話をするお年寄り、通りすがりに絵を見て「頑張って、や、可愛い!」など声をかけてくれる人たち、この環境は本当に素晴らしいと思う。この町のために頑張りたいと訪れてみて強く実感するぐらい、居心地がいい町だった。



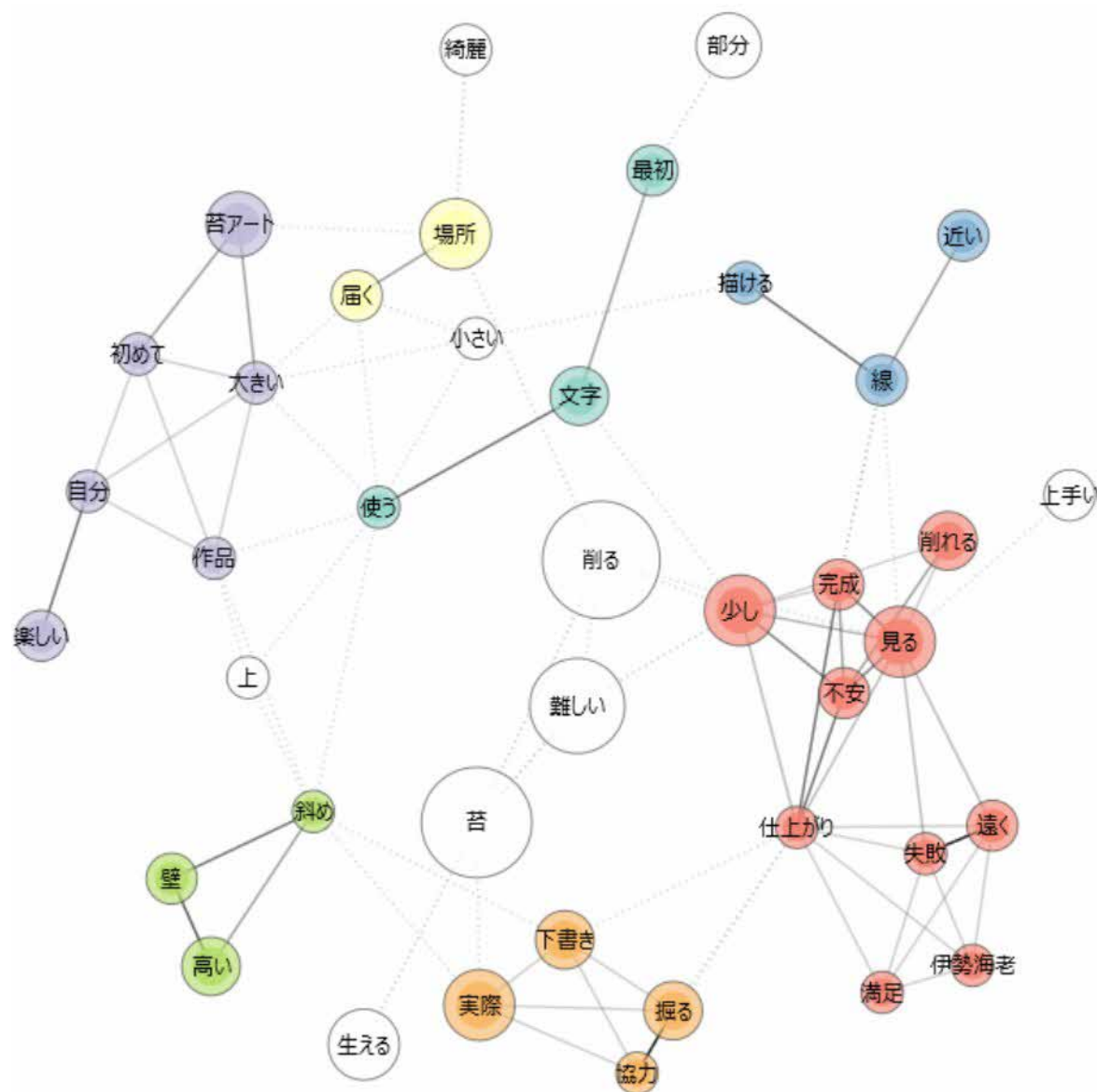
# フィールドワーク参加の感想

1. 今まで行ったことのなかった海陽町に足を運び、自然や地域の方々と接してみて海陽町の魅力をたくさん知ることができた。
2. 地域の人達がとれとれ市で話しかけてくれて「苔楽しみにしてる」と言ってくれて、より頑張ろうと思った。
3. このようなフィールドワークは初めて参加した。自分達のアイデアが少しずつ形になっていくことが目で見えてとてもやりがいを感じた。徳島の地域課題についてもっと深く学習していきたい。
4. 率直に楽しかった。海陽町で苔アートを実施した周辺を散策したが、海が近く、住宅街も並びが昔懐かしい感じがして、とても良かった。住みたいぐらいだった。また、活気もあって年に一度の市場に参加できたことも偶然とはいえ嬉しかった。人が楽しそうで本当にこの日を待っていたんだなと思えるような笑顔が見れた。海陽町がどれだけ良い町であるかを深く認識した良い機会だった。



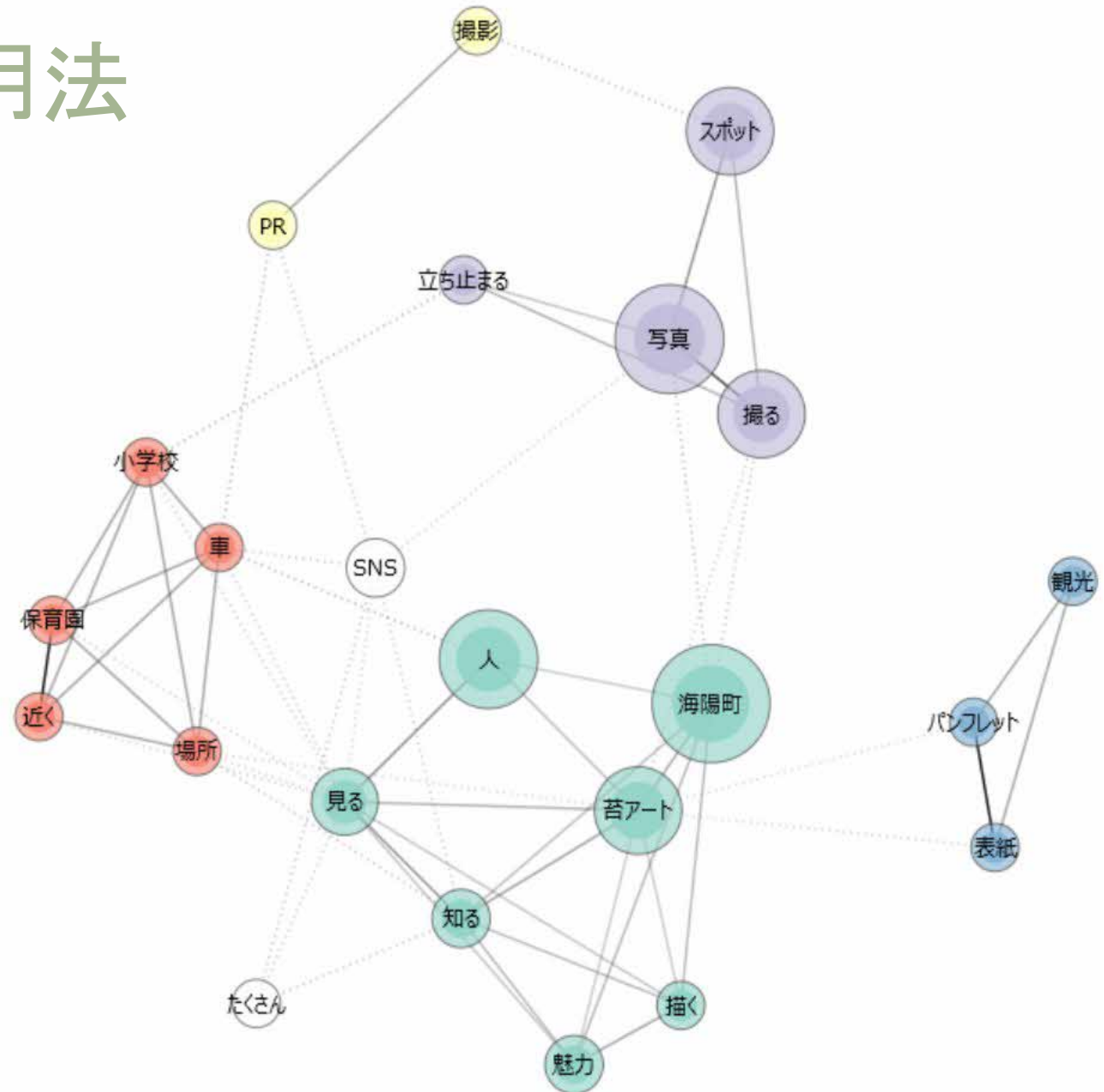
# 苔アートに挑戦した感想

1. デザイン通りに掘ることができるのか心配だった。しかし、皆で協力してデザインの狙い通りに掘ることができた。
2. 実際にしてみて、簡単に掘ることができ、楽しかった。少し距離を離して見てみると思いの外、絵がはっきり見えて驚いた。
3. 文字を削るのが難しく、遠くから見ても分かるよう心がけた。次はもっと簡単に分かりやすいアートでも良いと思う。
4. 苔アートをした場所は斜面で、高さの関係等で当初のデザイン通りにならなかつたり、少し失敗してしまう部分もあったが、満足いく仕上がりにできて良かった。
5. 苔があまり生えていない場所で苔を削る作業は難しかった。苔が生えてきたらはっきりと見えるようになるようなので少し安心している。
6. 大きいアート作品を自分たちで仕上げて充実感を味わえた。
7. 反省点も多くあるが、今はやり終えた気持ちと住民の方々が楽しんでくれるといいなという気持ちでいっぱいだ。貴重な経験をさせてもらった。



# 完成した苔アートの活用法

1. 近くに保育園や小学校にあたり、港が近かったりと、車や人が行き交う場所なので、幅広い世代の方達に見てもらって楽しめる場所に
2. 写真を撮れるスポットに
3. SNSにアップして全国に海陽町を知ってもらい、足を運んでもらえるきっかけに
4. 観光案内パンフレットの表紙にして海陽町をPR
5. メディアに取り上げてもらう
6. イルミネーションにする





# 今後の展望

学生による  
苔アート  
フィールドワーク



★地域の魅力発掘と発信★

地域の魅力＋学生＋情報発信＝地域力UP